

2017年6月19日

急性胆嚢炎と診断し手術を施行した患者さんの診療情報を用いた
臨床研究に対するご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせ等がありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

当院における急性胆嚢炎手術症例の検討（壊疽性胆嚢炎を中心に）

【研究機関】 北播磨総合医療センター

【研究責任者】 北播磨総合医療センター 外科、消化器外科 沢 秀博

【研究の目的】

急性胆嚢炎の合併病態である壊疽性胆嚢炎（GC）は、急速に進行する可能性があり、周囲膿瘍や腹膜炎を起こすことがあります。このため、壊疽性胆嚢炎（GC）は早期の診断および治療が望まれます。当院で急性胆嚢炎と診断し手術を施行した症例を比較することにより、壊疽性胆嚢炎（GC）の早期診断に役立つ因子を検討します。

【研究の方法】

当院で2013年10月から2017年2月までに急性胆嚢炎と診断し手術を施行した症例を対象とします。術前検査より壊疽性胆嚢炎（GC）を予測させる因子、通常の胆嚢炎（AC）と壊疽性胆嚢炎（GC）について手術成績、術後経過を比較検討します。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の診療情報は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

北播磨総合医療センター 外科、消化器外科 沢 秀博
〒675-1392 小野市市場町926-250
TEL 0794-88-8800（代）